

位置付け

- 県の総合計画「新・宮城の将来ビジョン」における交通分野の取組を着実に推進するために、県、市町村及び交通事業者等が広域的に取り組む施策について、基本的な考えを取りまとめるもの。
- 広域的なモビリティデータの分析・提供等を通じて、県内市町村の交通政策立案を支援するもの。

期間

- 令和8（2026）年度から令和14（2032）年度まで
- ※次々期策定において、国勢調査等の結果を活用するため、7年間の計画期間としている。

都道府県に求められる役割（国土交通省資料『「地域公共交通計画」の実質化に向けたアップデート』より）

- ①地域間交通軸と拠点の充実保障
地域間交通（鉄道・バス等）を中心に、まち・観光の軸となる路線・拠点について、利便性の高いサービスを目指す。
- ②市町村の公共交通軸・拠点との調和
市町村間の調整を図りながら、市町村と連携した拠点の充実や地域交通軸とのシームレスな接続等により、地域交通の利便性を推進
- ③市町村の取組に対する支援
明確な役割分担を図りつつ、市町村の取組を支援

現状と課題

- 地域公共交通維持確保の困難化
- ・利用者の減少、運転士不足による事業者の経営環境悪化
 - ・インフラの老朽化
 - ・市町村単位での住民バス運行による財政負担増加
- 交通制約者への支援
- ・高齢者や障害者等の移動手段
 - ・通学手段の確保
- まちづくりやライフスタイルの変化
- ・都市拠点の分散・広域化
 - ・コロナ禍以降の行動変容
- 交通DXの遅れ
- ・モビリティデータの未整備、デジタル人材の不足

今後求められる対応

- ・事業者の経営改善の取組に対する支援
- ・運転士等担い手不足の解消
- ・広域的な交通体系構築に向けた場の提供
- ・市町村支援（モビリティデータの共有、人材育成）
- ・地域特性及び住民の需要を踏まえた交通サービスの導入
- ・他分野との連携強化
- ・公共交通（鉄道、バス、離島航路等）の利用促進

○課題の肉付け

○分野別に課題整理

分析手法	活用方法
地域特性の整理	人口分布、施設立地状況等を把握
上位計画・関連計画の整理	宮城県における公共交通の位置付け、求められる役割を整理
公共交通の実態整理	運行状況（経路・停留所・本数等）や財務状況を整理
アンケート調査の実施	公共交通に対する意向や県に求めること等を把握
ビックデータ分析	市町村間の広域的な流動状況を把握
地域部会による検討	4圏域ごとに協議の場を提供し、課題を整理